


整理番号	HT27158	分野	地学	キーワード: 地層, 気候変動, 洪水・津波事件
------	---------	----	----	--------------------------

信州大学

地層が語る過去の気候と事件

先生(代表者)	保柳 康一(ほやなぎ こういち)学術研究院理学系・教授			
自己紹介	大学では、地層のでき方と地層に残された記録を読み解き、過去の地球の姿をどのように知ることが出来るのかについて、教えています。出かけることが大好きで、世界中の地層からそれぞれの地域の過去の姿を知りたいと思っています。ニュージーランド沖での海底の地層採取は、様々な国の人と協力しておこないました。			
開催日時・主な募集対象	平成27年8月6日(木)～平成27年8月7日(金)(どちらか1日だけの参加も可能)	(対象)	高校生	(人数) 10名
集合場所・時間	信州大学松本キャンパス理学部C棟	(集合時間)	1日目:午前9時30分 2日目:午前9時	
開催会場(集合場所)	信州大学松本キャンパス理学部 住所:〒390-8621 松本市旭3-1-1 アクセスマップ: http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map05.html			
内 容				
<p>氷河期などの気候変動, 地殻変動やそれに伴う津波や洪水など, これまでに地球上で起こってきた自然災害など事件を知ることは, 自分自身の身を守り, かつ私達の生活を豊かにするために大切です. このような私たちの生活の基盤をつくらせている地球についてこの機会に考えてもらいたいとおもいます</p> <p>1 日目は, 信州大学理学部において最初に「なぜ地層を研究するのか」ということと「地層をどのように採取するか」についてお話しします. その後, 野外に出て実際に地層を採取してもらいたいと思います. ここで, 採取した地層は, 翌日に実験で使おうと思います. 予定としては, 平安時代に上田, 長野盆地を襲った仁和の洪水(888年)の地層が採取できればとおもっています.</p> <p>2 日目には, 地層に含まれている微化石研究によって解き明かされる過去の環境などについてお話しします. その後, 大きな水槽で波や海岸の形成, 津波の発生などの実験を見てもらいます. 午後からは, 1 日目に採取した地層やこれまで取られている海底の地層などをつかって, その粒の大きさを測る実験や微化石の抽出などの実験をおこないます. 実験終了後に, それぞれの実験結果などを話し合ってみましょう.</p>				
スケジュール			持ち物	
<p>第1日目</p> <p>9:30～10:00 受付(信州大学理学部C棟玄関)</p> <p>10:00～10:30 開講式(あいさつ, オリエンテーション, 科研費の説明)</p> <p>10:40～12:10 講義「地層が明らかにする地球の変動 (講師:保柳康一)」途中10分休憩</p>			<p>筆記用具</p> <p>汚れても良い服装</p>	

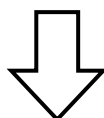
12:10～13:00 昼食 13:00～14:00 バスで長野市塩崎遺跡へ移動 14:00～16:00 塩崎遺跡の見学と地層採取 16:00～17:00 バスで信州大学理学部へ移動, 到着後 1 日目終了 第 2 日目 9:00～9:20 受付(信州大学理学部 C 棟玄関) 9:20～ 9:40 あいさつ, オリエンテーション, 科研費説明 (2 日目からの参加者のみ). 他の参加者は, 1 日目に採取した地層を観察します. 9:40～10:40 講義「過去を語る小さな化石(講師:山田 桂)」 途中 10 分休憩 10:50～12:00 実験デモンストレーション「海岸の地層をつくる (講師:村越直美)」 12:00～13:00 昼食 13:00～15:30 地層の分析(粒度, 珪藻化石, 有孔虫化石など) 15:30～16:30 グループ討論 16:30～17:30 まとめ, アンケート記入, 修了式(未来博士号の授与) 17:30 終了	特記事項
--	------

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名 :	信州大学理学部総務グループ(会計)・小坂 紘子
住 所 :	長野県松本市旭3-1-1
TEL 番号 :	0263-37-2436
FAX 番号 :	0263-37-2438
E - m a i l :	kosaka_hiroko@gm.shinshu-u.ac.jp
申込締切日 :	平成27年7月27日(月)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
保柳 康一	H26-28	基盤研究(C)	26400486	プレート境界堆積盆地における津波・洪水堆積物の認識とその地層形成上の役割
保柳 康一	H23-25	基盤研究(B)	23340154	ニュージーランド沖陸棚堆積物試料を用いた後期新生代汎世界的海水準変動の解析
保柳 康一	H13-14	基盤研究(B)	13440146	汽水・沿岸堆積物における堆積性有機物を用いた海水準変動と気候変動指標の確立



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。